※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	地理総合 （東京書籍） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE2023 （帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身の回りを見てみると、多くの地理情報が溢れている。このような情報が地図として表現されることで、社会の中で大いに役立てられてきた。地図の活用は地理を学ぶために必要なだけではなく、他の学問を学ぶうえでも非常に有益な方法ではないだろうか。
私たちの生活は、国や地域によって異なる自然環境や社会環境の上に成立している。
地形や気候といった自然環境が様々であることはもちろんだが、自然環境の特徴を反映して、資源・エネルギーの開発や農業・工業の発展・衣食住にみられる生活文化なども多種多様である。現代世界の地理的な諸課題をグローバルな視座で考察し、課題への対策や持続可能な社会の実現について考えることは、グローバルリーダーに成長していく上で必要不可欠ではないだろうか。

２　学習の到達目標

①教科書に掲載された各章の章末確認テストの問題に解答できるようになる。
②地形図や統計資料などから必要な情報を読み取ることができるようになる。
③地理情報システムを活用することができるようになる。
④各章の重要単語について、意味や仕組み（なぜ）を説明できるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所などに着目し、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○学習において粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ○よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	私たちが暮らす世界	1．緯度・経度 2．地球儀と世界地図 3．日本の位置と領域	a: 世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図にまとめたりしている。 b:地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・発表 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	地図や地理情報システムの役割	1．地図の種類 2．地形図のルール 3．主題図の種類と読み取り 4．地理情報システムと地図	a: 地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。GIS を操作し、計測結果や主題図を表示している。 c: 紙の地図や GIS に対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・発表 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

前期	資料から読み取る現代世界	1. 交通の発達 2. 情報通信の発達 3. 国境をこえる人々の移動 4. 拡大する貿易 5. つながる世界、多極化する世界	a:交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。交通・通信手段や貿易構造の変化、世界の国家群の特徴などについて、地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。 交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b:交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・発表 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

	資料から読み取る現代世界	1. 交通の発達 2. 情報通信の発達 3. 国境をこえる人々の移動 4. 拡大する貿易 5. つながる世界、多極化する世界	c:交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・発表 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

	人々の生活文化と多様な地理的環境	1. 生活文化の多様性と国際理解 2. 生活文化と自然環境①地形 3. 生活文化と自然環境②気候 4. 生活文化と産業	a: 世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b: 文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・発表 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

後期	さまざまな地球的課題と国際協力	1. 地球環境問題 2. 資源・エネルギー問題 3. 人口問題 4.食糧問題 5.居住・都市問題 6. 民族問題	a: さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 b: 地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・発表 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

後期	自然環境と防災	1. 日本の自然環境の特色 2. さまざまな自然災害と防災	a: 変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b: 日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・発表 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

後期	生活圏の調査と地域の展望	1.地域調査（テーマ設定・まとめ・発表）	a:地域調査の手順や注意すべきことを理解している。地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 b:身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。 c:身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	・ワークシート	・発表 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度